



由利地域振興局農林部農業振興普及課 TEL:22-8354  
NOSAI由利 由利農業共済組合 TEL:24-3301  
JA秋田しんせい 営農生活部 米穀課 TEL:27-1601  
JA秋田しんせい 営農センター

## ～出穂期の管理について～

7/25(木)実施の生育調査結果では、あきたこまち、ひとめぼれ共に葉齢の平均は12葉となっており、まもなく出穂期を迎える時期となっております。すでに管内で出穂期を迎えている圃場もあり、今年は例年よりも早く出穂することも予想されますので遅れることなく、稲の状態に合わせて管理を実施して下さい。

### ●水管理

- ① 出穂時は水を多く必要とするため、出穂後10日間は5～6cmを目安に湛水状態とします。(花水)
- ② 花水終了後は、2～3cmの浅水で間断かん水を実施しましょう。
- ③ 落水の時期は概ね出穂30日後からとします。早期の落水は稲体の活力低下により、登熟が妨げられ収量・品質・食味が低下する原因となります。

#### 注意

まとまった降雨のあとには気温が上昇するフェーン現象が起こる場合があります。乾燥した風が強く吹く場合は湛水状態とし、枯れ上がりを防ぎ、稲体の活力維持に努めて下さい。

※圃場環境、周囲の圃場への配慮で用水の確保が難しい場合があると思いますが、皆様で分け合い、可能な範囲で最善の管理をお願いします。

### ●いもち病防除

湿気が多い日が続き、しんせい管内各地でいもち病の発生が確認されております。葉いもち病斑を発見した場合は、穂いもち病に繋がる可能性が高いので徹底した防除を実施しましょう。

#### (葉いもち病斑を確認した場合)

**フラシン剤** 粉剤DL 3～4kg/10a **フロアブル** 100～150L(1000倍)/10a

必要に応じて…

**ビーム剤** 粉剤DL 3～4kg/10a **ゾル** 100～150L(1000倍)/10a

にて追加防除



葉いもち

#### (穂いもち病防除剤)

**コラトッフ粒剤5** 4kg/10a **コラトッフ粒剤12** 1～1.5kg/10a

※病斑が見られ、防除を行う場合は、登録内容を確認の上、適期に適切に散布を実施して下さい。

葉いもち病は放置しておくとも高い確率で穂いもち病へ移行しますので注意して下さい。症状を確認した場合は迷わず防除を実施するようにして下さい。

判断がつかない場合は営農指導員にご相談下さい。



穂いもち

## ●カメムシ防除について

7月のカメムシ掬いとり調査の結果、今年のカメムシの発生量は多いと予想されます。ヘリ防除の日程は、各地区の防除協議会から発表されるものを確認して下さい。個人防除を実施する方は一斉防除の日程に合わせて防除して下さい。1回目にスタークル剤を使用し、2回目の防除を実施する場合はキラップ剤を使用して下さい。

### スタークル剤（出穂10日頃）

粉剤 3kg/10a  
液剤 150L(1000倍)/10a

### キラップ剤

粉剤 3kg/10a  
液剤 150L(2000倍)/10a



8月末までは草刈り禁止期間となっていますが、ヘリ防除後1週間は防除圃場付近の農道・畦畔の草刈りを実施して下さい。それ以降の草刈りは9月に入ってから実施して下さい。

#### 注意

草刈り禁止期間に草刈りを実施すると、カメムシが圃場に侵入するのを助長させることとなります。草刈り禁止期間の厳守はカメムシの増加を防ぐ耕種的防除として有効な管理です。

## ●体調管理について

圃場の適切な管理も大切ですが、自分の体調管理はもっと大切です。特にここ最近の天気は、高温で湿度が高く、熱中症が心配されます。1人で作業される場合はリスクが高く、少しでも体調に異変を感じた場合は、すぐに作業を中断し、日の当たらない涼しい場所で休憩するようにして下さい。曇りなど日がでない日でも熱中症にはなりますので注意して下さい。

### 対策

- ①水分、塩分、糖分をとりましょう。  
(汗は水分と塩分でできています。汗で失う分を補給しましょう。糖分は塩分の吸収を高めてくれます。)
- ②通気性の良い服装で熱がこもらないようにしましょう。  
(体を冷却することが予防に繋がります。)
- ③入浴時に43~44℃の熱めのお湯を浅く張り、半身だけ浸かり、汗をかくまでじっくり温まらしましょう。(体に暑さへの耐性をつける効果が得られます。)
- ④室内の環境に注意しましょう。  
(室内にいても熱気や湿気がこもれば熱中症になるので部屋の風通しを良くし、冷房などを上手に活用しましょう。)
- ⑤暑い日の外での作業はできる限り2人以上で行いましょう。  
(熱中症発症時のリスクが下がります。作業効率も良いです。)

## ●稲作メールマガジンについて

稲作メールマガジンを是非ご活用下さい。今年は田植え後の高温による異常還元や最近ではいもち病など緊急的に対処しなければならない状況が管内で発生しました。稲作メールマガジンでは、上記のような緊急的な対処が必要な際に生産者の皆様のサポートとなるような情報をタイムリーに発信できるように努めて参ります。登録方法等のお問い合わせは最寄りの営農センターか本店米穀課までお問い合わせ下さい。

